



オレンターノPRESS

2021.7.6 新体制スタート!



独占インタビュー

後半戦に向けて



Shota KAWANISHI

MF 10 川西 翔太



Takayoshi AMMA

監督 安間 貴義



Kentaro KAI

DF 4 甲斐 健太郎



Yosuke KASHIWAGI

MF 42 柏木 陽介

CONTENTS

MESSAGE FROM THE NEW OFFICER

新役員からのメッセージ

MANAGER & PLAYERS INTERVIEW

監督・選手インタビュー

FC岐阜U-15 全国大会初出場 大会レポート

FC岐阜U-18 石坂亮人選手 トップチーム昇格内定!!

地域貢献活動 SDGsの取り組み紹介

新体制発足記念 FC岐阜後援会 会員募集



MESSAGE FROM THE NEW OFFICER

新役員からのメッセージ

J2昇格に向けて全力支援

第8回FC岐阜後援会総会決議に基づき、7月6日に新体制が発足しました。
J2昇格に向けて全力で支援して参りますので
引き続きのサポートをよろしくお願い申し上げます。



株式会社 岐阜フットボールクラブ
代表取締役社長
宮田 博之
Hiroyuki Miyata



FC岐阜後援会
会長
櫻井 宏
ぎふ農業協同組合 代表理事会長
Hiroshi Sakurai



FC岐阜後援会
相談役
岸野 吉晃
元 岐阜県自動車株式会社 代表取締役社長
Yoshiaki Kishino



FC岐阜後援会
副会長
小川 信也
太平洋工業株式会社 代表取締役社長
Shinya Ogawa



FC岐阜後援会
副会長
川島 政樹
カワボウ株式会社 代表取締役社長
Masaki Kawashima



FC岐阜後援会
副会長
木下 健一
明治安田生命保険相互会社 岐阜支社長
Kenichi Kinoshita

前半戦の混戦から 後半戦で優勝へ

2年目のコロナ禍、4月初旬にFC岐阜の選手・チーム関係者5名が感染し隔離、残る選手も2週間の自宅待機となりこの間の2試合が繰り延べられ、活動休止明け3日後にはリーグ戦に臨むといった厳しい日程も余儀なくされましたが、チームは8勝1分5敗、勝点25の第2位で前半戦の全14試合を終えることが出来ました。上位4チームはトップと勝点2点差の大混戦です。

後半戦を選手がAggressiveに躍動し、大勢のファン・サポーター、スポンサーの皆様にご覧いただける試合を毎回ご覧いただけるよう、オリンピック中断期間には選手補強によるチームの戦術強化を図るとともに、酷暑の中、練習試合を含むハードワークで個々の精神力を鍛えてきました。

目標のJ3優勝に向けてこれからは1戦必勝です。どうか大勢の皆様方のJ3リーグNo.1の熱い拍手での応援を何卒よろしくお願い申し上げます。

FC岐阜は「岐阜の宝」

FC岐阜の後援会長として、3年半お世話になりました。今日まで、何とかやらせて頂いたのは、前任の故星野鉄夫会長が、後援会の礎を苦勞して築かれたからです。改めて、天国の星野さんに感謝すると共に、ご支援頂いた全ての皆様方に、厚くお礼申し上げます。

私が在任中の3年半に、トップチームの監督が4人交代しました。この間のチーム成績が振るわなかったことを物語っています。しかし、サッカーは競技スポーツであり、勝つときもあれば負けるときもあります。大切なことは、勝っても負けても、FC岐阜が地域から愛され続けるクラブであることだと思います。

監督や選手が岐阜に愛着を感じ、全ての県民が我慢強くFC岐阜を応援する。そんなクラブを目指して欲しいと思います。FC岐阜は、岐阜県、岐阜市を始め県下42の全ての市町村に支えて頂いており、これからは「岐阜の宝」として、地域のシンボルであり続けることを願っています。

私の後任は、ぎふ農業協同組合代表理事会長の櫻井さんをお願いすることになりました。大変、心強く感じています。引き続き、FC岐阜への応援を宜しくお願いします。

今シーズンこそJ2昇格を

櫻井新会長のもと、川島副会長、木下副会長とともに、引き続き副会長を務め、FC岐阜を盛り上げていく所存です。これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

今シーズンは安間監督のもと、前半戦はチームスローガンである「躍動 (aggressive)」のサッカーで上位を争い、見る人をワクワクさせるプレーで活躍してくれました。昨年からのコロナ禍ではありますが、選手の皆さんの力強いプレーが、後援会やファン・サポーター、そして地域の皆様に勇気や希望、感動を与えてくれました。

57年ぶりの東京オリンピック・パラリンピックが開催され、アスリートの皆さんの活躍に感動いたしました。混戦が予想される後半戦ですが、選手の皆さんの躍動感あふれる積極果敢なプレーで勝利をつかみ、今シーズンこそJ2昇格を果たすことができるよう、県民、企業、行政が三位一体となって「オール岐阜」で応援していきたいです。後援会としても会員のさらなる拡大やチームのサポートに努めてまいります。引き続き、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

オレンターノ岐阜

本年よりFC岐阜後援会の副会長を務めさせて頂く川島です。櫻井新会長の下、副会長3名で力を合わせてFC岐阜後援会を盛り立てていきたいと思っています。後援会の皆様、サポーターの皆様、選手・クラブ職員の皆様どうぞよろしくお願い致します。

FC岐阜の今シーズンの目標は、言うまでもなくJ3を制し、J2への復帰を図ることにあります。プロスポーツである以上、選手には勝ちにこだわって欲しい、クラブには選手を支え勝てる環境を万全に整えて欲しい、そしてファンには勝利を信じてどんな時にもチームのサポーターであって欲しい。私はそう願っています。

岐阜にゆかりのある人と企業と行政、オール岐阜でサポートする文字通り「オレンターノ」FC岐阜となるよう、後援会は物心両面でFC岐阜を支えて参ります。

今シーズンのFC岐阜にご期待頂き、熱い声援をよろしくお願い致します。

変わらぬご支援を

本年7月より後援会会長を仰せつかることになりました櫻井です。岸野相談役(前会長)のご教示を頂きながら、FC岐阜を盛り上げてまいります。また、副会長には引き続き小川信也(太平洋工業)様に加え、新たに川島政樹(カワボウ)様、木下健一(明治安田生命)様の三名体制で、サポートいただくこととなりました。県や市町村、スポンサー企業、後援会の皆さまにはこれまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今シーズンも前半戦が終了し、FC岐阜は僅差の勝ち点で2位と、絶好の位置につけています。安間監督以下選手のみなさんには、目標とするJ2昇格をめざして、一層の健闘を期待しています。

後援会といたしましても、会員の増強や広報活動を通じてチームのサポートに努めてまいります。引き続きの応援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

8月28日からの後半戦、一戦必勝で必ずJ2昇格を勝ち取りましょう!!

感動を共に!

この度、FC岐阜の後援会副会長を仰せつかりました、明治安田生命岐阜支社の木下です。後援会の皆さまと力を合わせて全力でFC岐阜を盛り上げてまいります。

弊社はJリーグタイトルパートナーとして今年で7シーズン目を迎え、FC岐阜のJ2復帰を岐阜支社全従業員で、全力で応援しております。

また、今シーズンは私たちと共にFC岐阜を応援して下さる、地元の方々への後援会入会のお声かけもさせていただきます。

選手、スタッフ、ファン・サポーター、スポンサーの皆さま、そして後援会が一体となって、1点、1勝の感動を共に分かち合いたいと思っています。

FC岐阜のJ3優勝と、J2昇格に向け共に応援しましょう。今後とも、皆さまの応援とご協力をお願い申し上げます。

安間 貴義

監督

前半戦を終えて我々のポゼッション率は15位でした。ところが、相手陣内に入り3人以上絡んで7秒以内にペナルティエリアに進入するいちばん難しいところのコンヒネーションはリーグ1位なんです。



ポゼッション率を高めるだけなら最終ラインで回していればいけれど、ぼくらはそれをやらないうってまずはゴールをめざそうとしてきた。ポゼッション率という大きい枠で行くと最下位になってしまっただけで、連携プレーが出ていてじつはエリアに進入する回数も多い、そこは尖った部分なので大事にしていこうと思っています。

その尖った部分を増やすために、中断期間は最終ラインのこのビルドアップで前の人に預ける質を上げる努力をしています。なによりも奪った直後にボールを失っているケースが多いんですよ。ポゼッションのチームにしようとは思わないけど相手陣内のコンヒネーションがこれだけ出るんだから、そこを高めるためにも一回見直そうと。

攻撃に関しては、もうひとつはエリア内が課題です。決定力はあるけれどそこをもっと高めないといけないし、途中からなくなってきたミドルシュートやそのこぼれ球でも点を獲っていききたい。ミドルを撃つチャンスはあるのでその集中力を持っていこうと確認しあっています。



守備面では、前節までとは立ち位置を変えて、徐々に体力がなくなり間に合わなくなっていた。クリアを大きくするのがまずひとつでした。それに、自分たちが奪いきったあと相手に即時奪回されるシーンもありました。そういうシーンならしっかりマイボールを保持しないといけない。結局は両方です。切るときは切る、完全にマイボールのときは保持する。夏の中断期間以降はそういうことに取り組んでいます。連携も含めてこの1カ月レベルアップしないとダメですし、出来ること、プレーの選択肢を増やさないといけない。芯は通っているけど枝分かれさせていけるようにしたいです。リーグ戦の中断でみんな頭もクリアになり、やりたいことを詰めていく作業の途中です。再開初戦で変わったな、というところを感じてもらえればと思います。

（取材日：2021年7月22日）

甲斐 健太郎

4 DF



昨年の讃岐戦終了間際に決めた1点はいまでも印象に残っています。でも、自分が上がっていくシーンは少ないほうがいい。YS戦で攻め上がった際に失点して敗れたあと、安間（貴義）監督さんには「うしろにドシンと構えていてほしい」と言われました。昨シーズンのサッカーには個人頼みなところがありましたが、今年は各ポジションに選手が揃って、チームとしてサッカーが出来ていることもあり、安間さんの言葉を受けられることが出来ました。

選手各個人に何が求められているかを安間監督が伝えてくれて、やるべきことを自分たち選手はよくわかっていきます。チームとしてやるべきこともキャンプから段階を踏みながら整備出来、大崩れしなかった。昨シーズンまでのFC岐阜だったら5点以上獲られるような大敗がありましたけど、今年は立ち戻る場所があるし、戻せる、軸になる選手がいる。連続失点が減ったのは特に整備された部分かなと思います。

自陣に押し込まれたあとに押し返せない課題については、オフ明けのミーティングで長野戦に焦点を合わせて検討しました。押し込まれたときにボールを奪ったあと、そのクリアが小さくて相手に渡ったり相手を越せなくてラインを上げられ



ず、徐々に体力がなくなり間に合わなくなっていた。クリアを大きくするのがまずひとつでした。それに、自分たちが奪いきったあと相手に即時奪回されるシーンもありました。そういうシーンならしっかりマイボールを保持しないといけない。結局は両方です。切るときは切る、完全にマイボールのときは保持する。夏の中断期間以降はそういうことに取り組んでいます。連携も含めてこの1カ月レベルアップしないとダメですし、出来ること、プレーの選択肢を増やさないといけない。芯は通っているけど枝分かれさせていけるようにしたいです。リーグ戦の中断でみんな頭もクリアになり、やりたいことを詰めていく作業の途中です。再開初戦で変わったな、というところを感じてもらえればと思います。

（取材日：2021年7月30日）

川西 翔太

10 MF



すべてのタイミングに関してぼくはゴールシーンから逆算してシュートを狙っています。鹿兒島戦の得点のようなショートカウントターの場面では（町田）ブライトのポジションから出てくるボールを狙っています。（吉澤）遼平や（柏木）陽介さんが持ったときも狙っています。（藤谷）匠のクリアから1対1の状況になった熊本戦のように（前半49分のシュート、あいうクリアでも狙っています。匠のように何年もいっしょにやっている選手は、この辺に落ちてきたら狙っているという自分の狙いと動きをわかってきているのだと思います。そういうチームメイトとの関係がいまは功を奏している。それがもっとゴールにつながるように質を高めていけたらと思っています。

もちろん今年から入ってきた遼平や陽介さんともすくコミュニケーションをとっていますし、どのタイミングで動いたら出しやすいとか、こう動いたら動いてほしいとか話し合い、お互いの考えをすり合わせています。

以前は中盤でがんばっていたところを、今シーズンは少しシンプルにしたおかげでけっこうゴール前に顔を出せるようになっていました。ぼく個人としてどうすればもっと結果を残せるか考えた部分でもありますが、チームとしてもそのように役



割を分けたほうがいいかなと思いついて、そういう感じでプレーしています。いままでだったらサイドにはたいもう一回もらいに行く動きをしていた場面でも、割り切ったクロスを狙う。監督が安間さんになってまずゴールに向かうというかたちが多く、そういうサッカーだからそうだったという面もあります。目標はあくまでも昇格。自分が点を獲得して勝てるんだってそれがいいかなと思いますし、一試合に1点以上点を獲得したいと思っていますけど、まずは勝てないと意味がない。1-0、2-1で勝つ、その1点、2点を誰が獲ってもいいと思います。自分のシーズン前半戦9得点もチームとしてゴールを積み重ねてきた結果だと思っています。

（取材日：2021年7月27日）

Shota KAWANISHI

監督・選手インタビュー「後半戦に向けて」

Kentaro Kai



今年初めてキャプテンをやってみてこれで大丈夫なのかという不安はありますが、それほど意識せずに済んでいる環境に感謝しています。本田選手、桐畑選手、松津選手、川西選手もみんなできり上げてくれるチームという感じがあるし、安間さんや強化部長の木村さんはぼくに対して「ちゃんと出来ている、人間として成長出来ている」と言ってくれています。

Yosuke KASHIWAGI

柏木 陽介

42 MF



FC岐阜に加入した当初は、それまで練習が出来ていなかったこともあって、まずチームがどういうサッカーをするのか見ながら自分も合わせてやっていけたらと思っています。コンディショニングが整わずなかなか試合に絡めず、もどかしい気持ちもありましたが、自分が入ったときにチームのために還元出来ることがあるのではないかと思いつきながらトレーニングに参加していたのがシーズンの序盤でした。

コンディショニングが上がってきて初めてスタメンで出場したとき（福島戦、宮崎戦）は、みんながそれまでよりも自分のことを知ってくれて、つなぐところの意識を少し増やせたのかなと。自分が（相手にとって）嫌なポジションをとりつつつながら意識したことが福島戦と宮崎戦の勝利につながったのかなと思っています。守備の部分でも賢さをもってプレー出来ていましたし、攻撃に関しても自分が入ることで落ち着かせることが出来、得点にも絡んですくポジティブな試合になりました。それだけに、ここからというときにケガをしてしまいたい残念でした。

安間（貴義監督）さんはほんとうにサッカーめちゃ好きなんやな、と思います。一方、監督のなかではもどかしさを感じながらやっているんだなと思うこともあります。安間さんはスタッフでボール回しをやっているとき、すく巧い。でも

前戦で負けたら（守備的に）行くというのには安間さんのなかで決めていたと思う。安間さんのサッカー観から次はこういうふうには発展させていきたいというところまで踏まえて自分は前向きに取り組んでいこうと思っています。

J1とJ3のちがいを説明するのはすく難しい。一人ひとりの巧さはそこです。この差があるとは思われないです。ボール回しだけならむしろJ1より巧い選手もJ3にはたくさんいると思うんですよ。そうではない集中力や判断、戦略性やゲーム運びの部分で差がつくんじゃないでしょうか。J3のほうが球際が激しくてガツガツ来るのは確かです。

いまの岐阜は負けで終わらせるチームになってしまっているから、シーズン後半戦は負けを引き分け、引き分けを勝ちに出来るようにしたい。もっと勝ち着けるだろうというチームもたくさんあるので、そこに対しての集中力を突き詰めてやっていきたいですね。加えてぼく個人としては、ケガをせずにシーズン終了を迎えたいです。全部フルで試合に出れるとは思っていませんけど、スタメンでしっかりと出て結果を出していきたいと思っています。

あとはチームとしてもっとまとまれるようにしたい。試合中、うまくいかないときには全員が下を向いてしまう、それはたぶん岐阜のいままでのメンタリティの問題なのかなと思うんですけど、そういうところを直していかないとすく難しいと個人的には思っています。焦るのではなくチームとしてまとまってこつこつと進んでいこう、こうしよう、しっかりと意思疎通出来るチームにこの中断期間でなっていけたらなと思っています。

（取材日：2021年7月27日）

祝 初出場 FC岐阜U-15

第36回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会

FC岐阜の中学生年代のチームである「FC岐阜U-15」が、FC岐阜アカデミーとして初めて、全国大会である「第36回日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会」に出場しました。本大会は、北海道を会場に8月15日(日)~24日(火)の期間で行われました。

開催日：6/26・27、7/3・4・10

第36回 日本クラブユースサッカー選手権 U-15 東海大会

優勝：清水エスバルスジュニアユース(静岡) 第7位：FC.Avenidasol U-15 (三重)
 準優勝：JFA アカデミー福島 U-15WEST (静岡) 第8位：清水エスバルスSS静岡(静岡)
 第3位：FC.フェルボール愛知(愛知) 第9位：TSV1973 四日市U-15 (三重)
 第4位：ジュビロ磐田U-15 (静岡) 第10位：アスルクラロ沼津 U15 (静岡)
 第5位：名古屋グランパスU-15 (愛知) 第11位：グランパスみよしFC (愛知)
 第12位：FCオリベ多治見ジュニアユース (岐阜)
 第13位：名東クラブ(愛知)

第6位：FC岐阜U-15 (岐阜)

※上位6位までが本大会に出場



FC岐阜U-15 メンバー

No.	Pos.	氏名	No.	Pos.	氏名
1	GK	古田 峻也	18	DF	桑坪 龍永
2	DF	安部 智哉	19	FW	内田 昶翔
3	DF	笹平 直寛	20	FW	細野 友稀
4	DF	林 恵多	21	GK	林 賢太
5	DF	竹之内 嵐	22	MF	田中 将真
6	MF	東山 有斗	23	MF	坪井 蒼季
7	DF	山下 魁心	24	DF	折戸 颯良
8	MF	渡邊 元氣	25	FW	畑中 矢楓
9	FW	出口 達也	26	MF	成瀬 陽
10	MF	中根 律雄	27	DF	安田 修
11	FW	東郷 瑛斗	28	MF	脇田 雅
14	FW	久次米 宏樹	30	MF	馬場 将大
15	MF	内海 颯太	32	DF	野津 碧生
16	GK	尾関 龍之介	33	DF	田邊 大陽
17	MF	小森 羅詠	36	MF	大矢 涼太郎

全国から各地区を勝ち抜いた 48チームが集結!!

全国 48 チーム

北海道 2 北信越 4 中国 3
 東北 3 東海 6 四国 2
 関東 15 関西 7 九州 6

※初出場 6チーム

グループステージ

1 グループ FC岐阜U-15 浦和レッドダイヤモンズジュニアユース サガン鳥栖U-15 エベユフットボールクラブ神戸

8.16 MON 12:30 KICKOFF
 FC岐阜U-15 1 | 1-1 | 2 サガン鳥栖U-15
 得点者 出口 達也(背番号9)



まずはコロナ禍の中、大会を開催していただきありがとうございます。また、多くの方がLIVE配信で試合を見て応援していただけただことで大変感謝しております。結果は残念ながら予選リーグ敗退となりましたが、クラブ初の全国大会で、この舞台でしか味わえない経験をさせてもらいましたし、選手も最後まで諦めず闘ってくれました。全国大会で見た課題を今後のトレーニングに反映し、毎年この舞台に立てるよう、頑張っていきます。

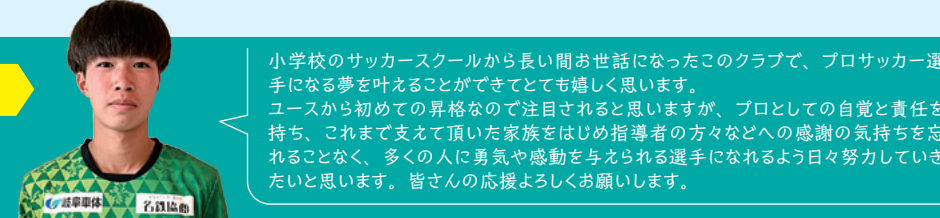
順位	チーム名	サガン鳥栖	浦和レッズ	エベユFC神戸	FC岐阜	勝点	試合	勝	分	負	得点	失点	得失点差
1	サガン鳥栖		1 0 0	0 Δ 0	2 0 1	7	3	2	1	0	3	1	2
2	浦和レッズ	0 ● 1		1 0 0	3 0 2	6	3	2	0	1	4	3	1
3	エベユFC神戸	0 Δ 0	0 ● 1		0 Δ 0	2	3	0	2	1	0	1	-1
4	FC岐阜	1 ● 2	2 ● 3	0 Δ 0		1	3	0	1	2	3	5	-2

1分2敗の勝点1でグループ4位が確定し、初の全国大会は惜しくもグループリーグ敗退となりました。

コロナ禍の中での全国大会となりましたが、安心安全に運営をいただきました。悔しい結果とはなりませんが、FC岐阜U-15はこの後も岐阜県リーグなど試合が続いていきます。この結果を糧に選手一人ひとりが更に成長してくれるのではと期待しています。引き続きFC岐阜アカデミーに温かいご声援をよろしくお願いいたします。

FC岐阜アカデミー初! FC岐阜U-18 石坂亮人選手 トップチーム昇格内定!!

FC岐阜U-18に所属する石坂亮人選手(学校法人富田学園 富田高等学校)が2022年シーズンよりトップチームへ昇格することが内定いたしました。クラブのアカデミーからトップチームへの昇格は今回が初めてとなります。



小学校のサッカースクールから長い間お世話になったこのクラブで、プロサッカー選手になる夢を叶えることができるとも嬉しく思います。ユースから初めての昇格なので注目されると思いますが、プロとしての自覚と責任を持ち、これまで支えて頂いた家族をはじめ指導者の方々などへの感謝の気持ちを持ち、これからは、多くの人に勇気や感動を与えられる選手になれるよう日々努力していきたいと思ひます。皆さんの応援よろしくお願いいたします。

地域貢献活動

SDGSSの取り組み紹介

FC岐阜は、クラブ創設以来10年以上に渡り、地域貢献活動や社会貢献活動などのホームタウン活動に積極的に取り組んできました。2020シーズンは、コロナ禍ではありましたが、感染症対策を行いながら3009回(2019シーズンは670回)のホームタウン活動を実施しました。

また、近年はこれまで取り組んできたホームタウン活動に加え、持続可能な開発目標であるSDGsを組み合わせた取り組みを進めています。

今回紹介させていただくFC岐阜のSDGsにかかわる取り組みは、多くの活動の中の一部に過ぎませんが、これからも、県民、ファン、サポーター、自治体、ステークホルダーの皆様とともにSDGsの目標達成に寄与できるよう、その活動に取り組んで参ります。

清掃活動

FC岐阜は、環境問題への取り組みとして、様々な形で清掃活動に取り組んでいます。例えば、ホーム戦においては、日本財団「海と日本プロジェクト」との協働により、ファン・サポーターやスタッフが協力し、スタジアム内外の清掃活動を実施しました。

また、スポンサー企業等とタイアップし、イベント



Plantan

FC岐阜は以前より、性別を問わず幅広い世代が楽しめる「フットゴルフ」に注目し、ホームゲームや地域のイベントなどで実施をしてきましたが、県内に東海地区初となるフットゴルフができるゴルフ場がオープンするのを機に、2018年に第1回のFC岐阜フットゴルフ大会を開催しました。本大会の開催を契機として、親子を対象とするものや、スポンサー企業とタイアップして社員の運動不足の解消や働きがい向上につながるようなイベントを実施するなど、バリエーションに富んだ活動を行っています。

これからも、サッカーに限らず、世代や性別を超えて楽しめるスポーツの提供を行っていきます。



かけこ教室

「全てのスポーツに通じる運動能力は走ることから」をモットーに、FC岐阜は2017年より、県内の陸上競技場にてかけこ教室を開催しています。

この教室の内容は、50人、60人の主に小学生を対象に陸上の一流現役アスリートを招いて、走る際のバランスチェック、ミニハードルを使った着地や姿勢の確認、接地にかかると足の使い方など、走るための基礎をメインに「速くなるコツ」を学ぶ場の提供をしています。

教室の最後は、講師と50mの競走を行うなど、盛り込まれたイベントとなっていますが、速く走ることはもちろん、体の基本的な使い方を学ぶことができるなど、子どもの基礎体力の向上に役立つものとなっています。

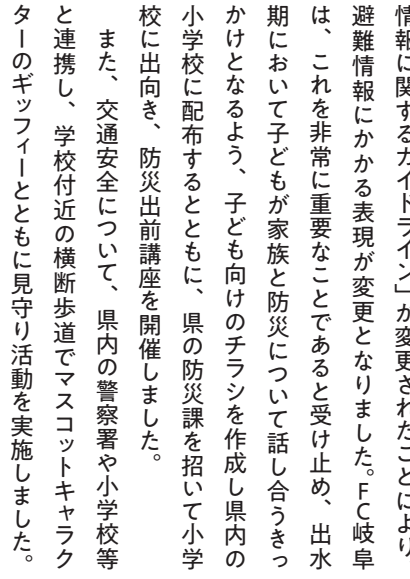


防災及び交通安全

FC岐阜は、東海地区の6つのJクラブが共同して防災活動を実施する「ソナエル東海」に参加して防災活動に取り組んだり、子どもたちの交通安全運動に積極的に取り組んでいます。

防災活動については、令和3年5月に、国の「避難情報に関するガイドライン」が変更されたことにより、避難情報にかかる表現が変更となりました。FC岐阜は、これを非常に重要なことであると受け止め、出水期において子どもが家族と防災について話し合うきっかけとなるよう、子ども向けのチラシを作成し県内の小学校に配布するとともに、県の防災課を招いて小学校に出向き、防災出前講座を開催しました。

また、交通安全について、県内の警察署や小学校等と連携し、学校付近の横断歩道でマスコットキャラクターのキッフィーとともに見守り活動を実施しました。



社会福祉・障がい者スポーツ

FC岐阜は、社会福祉活動の環として、障がい者の就労支援及びスポーツの普及にも取り組んでいます。

就労支援の取り組み事例として、他社との連携により「ぎふ就労支援センター」で働く障がいのあるスタッフの社会との関わりづくりや自立支援を目的に、FC岐阜の全ホームゲームにおいて運営業務を行っていたています。

また、障がい者スポーツの普及として、サッカーを通じた相互交流、体力の向上や知的障がい者スポーツの振興及び自立と社会参加の促進を目的に、県内の特別支援学校生を対象としたサッカー教室の開催や脳性麻痺の方を対象としたCサッカー(脳性まひ者7人制サッカー)への参画を行っています。



FC岐阜後援会 新体制発足記念

「トリプル2プロジェクト」

JAぎふ・マーサ21・明治安田生命 協賛

2021シーズン 後半戦スタートキャンペーン

FEVER
 歓喜の瞬間(2年ぶりのJ2復帰)に向けてFC岐阜を強力サポート
 期間中ご入会いただいた方に**2つの入会特典**をプレゼント!!
 既存会員の方も大歓迎!!



キャンペーン対象期間 2021.7.6(新体制発足日)から2021.11.30(2021シーズン後援会入会期限)まで

入会特典 その1
 (キャンペーン特別特典)

協賛特典

協賛各社からの特典の詳細は
 FC岐阜ホームページにてお知らせします



入会特典 その2
 (2021シーズン特典はそのままに)

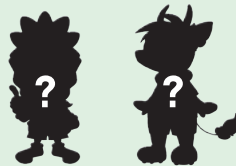
Private (個人) 会員・Corporate (法人) 会員 共通

- 会員証の発行 **Corporate NEW**
- ホームゲーム観戦チケット料金の割引
※当日券を前売券価格で購入できます
 ※小中高・学生は対象外となります
 ※他の割引との併用はできません
 ※一試合当たり2枚までとなります **Corporate NEW**
- 会報誌オレンターノPRESS発行(郵送)
- FC岐阜オフィシャルグッズ売店での
 グッズ購入が**5%割引!** **Corporate NEW**
※一部対象外商品あり

Private (個人) 会員

- ホームゲーム招待券**2枚/口**(メイン自由席招待券)
※ご利用を制限させていただく場合がございます

- NEW 2021シーズン限定**
- 口座振替申込または**2口以上申込**の場合
 - FC岐阜コラボグッズを進呈
※2021シーズン公式戦終了後に進呈いたします



Corporate (法人) 会員

- ホームゲーム招待券**5枚/口**(メイン自由席招待券)
※ご利用を制限させていただく場合がございます
- スタジアム看板、ホームページへの貴社名の掲載

- NEW 2021シーズン限定**
- 店舗掲出用FC岐阜コラボグッズを進呈
※準備が整い次第送付いたします

タペストリー
 卓上ミニのぼり
 応援のぼり
 ポスター



年会費は
 そのまま

Private (個人) 会員 年会費 1口 **5,000円** (複数口可)

Corporate (法人) 会員 年会費 1口 **30,000円** (複数口可)

受付窓口

FC岐阜ホームページ(「オレンターノ岐阜」「入会案内」よりお申込みください) https://www.fc-gifu.com/sponsor/orentano_gifu/



読者プレゼント

FC岐阜応援のど飴(5袋)&選手色紙(1枚)セット

※のど飴デザイン、サイン色紙は選手ランダム



【応募締切】令和3年10月29日(金) 当日消印有効
 ※当選発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

読者プレゼントの応募方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・法人会員名・本誌のご感想・ご意見をご記入の上、ハガキ・FAX、メールでご応募ください。

※ご応募のため、ご記入いただきました個人情報はFC岐阜後援会が適切に管理し、本誌に関する応募業務にのみ使用させていただきます、その他の業務に転用することはありません。

2021(後半戦)FC GIFU GAME SCHEDULE

節	開催日	キックオフ時間	対戦チーム
16	8/28(土)	18:00	福島ユナイテッドFC
17	9/4(土)	15:00	Y.S.C.C.横浜
18	9/11(土)	16:00	ガイナレ鳥取
19	FC岐阜の試合なし		
20	9/25(土)	19:00	鹿児島ユナイテッドFC
21	10/2(土)	15:00	FC今治
22	10/10(日)	14:00	カマタマーレ讃岐
23	10/17(日)	16:00	いわてグルージャ盛岡
24	10/24(日)	14:00	AC長野パルセイロ
25	10/31(日)	13:00	アスクラロ沼津
26	11/7(日)	14:00	カタレ富山
27	11/14(日)	13:00	テゲバジャーロ宮崎
28	11/21(日)	13:00	ヴァンラーレ八戸
29	11/28(日)	14:00	藤枝MYFC
30	12/5(日)	14:00	ロアッソ熊本

ホームゲーム

アウェイゲーム

◆すべてのスケジュールは予定につき、変更となる場合がございます。

後援会への入会・読者プレゼントの応募・
 その他お問い合わせ先

FC岐阜後援会事務局

〒502-0817 岐阜市長良福光2070-7 長良川スポーツプラザ1F

TEL 058-233-2877 FAX 058-295-7866 e-mail:kouenkai@fc-gifu.com